

〔宮城寛諄議員 登壇〕

○14番 宮城寛諄君 おはようございます。1番、1日目の先頭にやるというのは初めてのものですから、緊張しています。大きい4点、質問をしたいと思います。

1点目は、町長の政治姿勢を問うという件であります。選挙はどの候補者を応援するかというのは個人の自由であり、他人がとやかく言うことではないということは十分承知しております。しかしながら、選挙で選ばれた私たち公人といいですか、町長とか議員とかは、要するに自分の立ち位置をはっきりと示して、有権者に真意を問うということをやっているわけですから、少なくともどういう立場で、どういう公約でと選挙民に知らしめているわけですから、その辺は責任を持ってやっていくべきだと思います。それを踏まえて、今度の質問を行いたいと思います。町長の政治姿勢を問うということで（1）今回の知事選挙で佐喜眞氏を町長は応援したと聞いておりますけれども、事実かどうか。

（2）どのような理由から応援をしたのか。（3）佐喜眞氏の集会で応援演説を行ったと聞いているが事実かどうか。（4）町長は、選挙公約、要するに町長選挙です。選挙公約や議会答弁などで「建白書の堅持」を述べております。建白書では「米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念すること」が明記されております。佐喜眞氏は辺野古新基地建設について、外交と防衛は国の専権事項と言っております。国のやることに口出ししない旨の発言もしております。今回の知事選挙でも安倍政権総がかりだったと思います。新基地建設の容認派だと言っても過言ではないと思いますけれども、町長も新基地建設の容認派かという質問であります。

大きい2点目、こども医療費無料化拡大の実現はということで、（1）こども医療費の無料化を高校卒業まで拡大することについて、6月定例会で現在実施している自治体を調査してから検討すると答弁をなさっています。調査、検討はどうなっているか、お伺いします。（2）県は、ことしの10月からこども医療費窓口無料化（現物給付）を就学前まで実施するとなっています。当町の実施している中学校卒業まで拡大するよう要請できないか。また、要請は行っているのかお伺いしたいと思います。

それから3点目に、信号機の設置及び右折信号の設置をという質問を行いたいと思います。この右折信号機については、今回の一般質問でほかにも3人の方が同様の質問をしているようです。そういう意味からも、非常に関心のある、町民にとって重要なことだと思います。（1）私たち日本共産党町議団が、6月からアンケート調査を全町的に行いました。そういう中で、津嘉山地区内の信号機の設置、それから津嘉山交差点の右折信号の設置などの要請がありました。津嘉山交差点は右折が非常にやりにくく、赤信号で右折している状態です。二、三台、赤信号で右折をしております。当町にはほかにも当間原の宮平交差点や照屋交差点などに右折信号がないというところがあります。ぜひ右折信号を設置してほしいと要請してほしいがどうか。それから（2）津嘉山のガスト前、サンエーの正面なのか裏口なのか、向こうから出てくるところ、それから向こうの保育園は何でしたか、にじいろ保育園でしたか、向こうに出てくる交差点です。向こうの交差点に信号機を設置してほしいという要望もございます。それはどうかお伺いします。

それから4点目に、山川体育センターの再整備をということで質問いたします。何度か行った質問でもありますがけれども、なかなか再整備が進んでいないという状況のグラウンドであります。（1）毎年、山川のソフトボールチームでグラウンド側溝の掃除を行っています。ことしは、せんだっての日曜日、7日、南山会を中心に行っています。雨でグラウンドの土が側溝に流れ込み、一年では半分以上ふさがり、それほどグラウンドは表面が削られております。再整備の必要があると考えるが、実施計画を立てて整備することを求めていきたいと思っております。その件はどうなのか。以上、大きい項目で4点質問をいたします。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 宮城寛諄議員のご質問にお答えをいたします。1点目は私からお答えいたしますけれども、2点目から4点目につきましては、副町長、教育長から答弁をさせていただきますと思います。まず大きい質問事項1番目でございますけれども、（1）の佐喜眞氏を応援したかどうかと、事実ですかというご質問でございますけれども、事実でございます。（2）の応援した理由ということのご質問でございますけれども、私といたしましては、佐喜眞候補の6年余にわたる宜野湾市長としての市政運営を念頭に、同候補者の行政手腕に期待をいたしまして応援したということでございます。（3）の応援演説のご質問でございますけれども、事実でございます。（4）町長も新基地容認派かというご質問でございますけれども、私といたしましては、容認派とか推進派ということでは

10月10日（第4号）一般質問

なくて、むしろ全県の市町村長、それから議会議長、あるいは各種団体の長、そういった沖縄県内の皆さん方が、一斉に建白書に同調いたしまして、それをみんなで頑張っていくまいしょうという趣旨に賛同いたしまして、建白書の趣旨の内容の堅持ということをお願いしております。私は今でも普天間基地の閉鎖・撤去、県内移設ということに関しましては、建白書の趣旨を私としては堅持しているつもりでございます。以上でございます。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項2点目のこども医療費無料化拡大の実現は。（1）についてお答えします。こども医療費の窓口無料化については、既に実施している自治体などの調査を終えて、現在は実施計画への計上に向けての調整を進めているところであります。（2）についてお答えします。県への要請を行っているかということですが、それについてはまだ行っておりません。新知事が誕生しましたので、県の動向を注視してまいりたいと思っております。

質問事項3点目、信号機の設置及び右折信号の設置を。（1）についてお答えします。与那原署を通じて公安委員会に確認をしたところ、津嘉山十字路及び宮平当間原交差点の右折信号は、年内に設置予定と報告を受けております。照屋交差点は、道路右折帯がないことから、県道管理者との調整も含めて、今後検討してまいりたいと思っております。（2）についてお答えします。与那原署を通じて公安委員会に要請を行ってまいります。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項の4点目、山川体育センターの再整備についてお答えいたします。今のところ、山川体育センターについては再整備等に関する計画はございません。引き続き、修繕費や原材料費で対応していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 1点目の政治姿勢を問うというところ、応援したことが事実であり、また集会で応援演説を行ったことも事実だということ、それと佐喜眞氏の6年余の宜野湾市長としての市政運営を念頭に、候補者の手腕に期待をしたということですが、その点はどういう理由であれ、応援することは自由であり、とやかく私は言うものではありません。事実を確認したということでもあります。

4つ目のことですが、町長は建白書実現、これは41市町村の首長みんなで一緒に要請していく、自分もそのことで頑張っていくということの表明がございました。それはそれで大変結構なことであり、この建白書の実現をぜひ目指してほしいと思います。ただ、そこに書かれている2つ目と3つ目、米軍普天間基地の閉鎖・撤去、それと県内移設を断念すること。この県内移設を断念することということは、辺野古に基地をつくらせないということでもあります。そのことに対して、今度の選挙で、佐喜眞氏がはっきりと辺野古反対とは言わないと。ただ、そういう基地の問題など、国がすることであり、自分たちには限界があるということをおっしゃって、その後は触れていないということでもあります。ということは、私たちが考えるときに、県知事になろうとするものが、辺野古への新基地建設、賛成か、反対かというのは、非常に大きな選挙の争点であり、イエスかノーか、賛成か反対か、そのことをはっきり明言すべきだと思います。玉城デニー氏が、そのことにはっきりと反対し、佐喜眞氏が国のやる事だから、自分たちには限界があるからということと黙っているということは、それは容認ではないのかと思われても仕方がない。それからまさに、安倍政権、内閣を挙げての応援をしているということであれば、それは容認であると思われてもしょうがない。ですから、佐喜眞氏が知事に当選した暁には、この辺野古の基地が進められていくということ、町長は頭になかったのかどうか。彼を応援することによって、要するに当選させようということ、応援をするわけですから、そのときに辺野古の基地について、佐喜眞氏が容認、賛成ということになるのではないのかということの思いはなかったのかどうか。その点をお伺いしたいと思います。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 ただいまのご質問、宮城寛諄議員の思いがこもったご質問だと思っておりますけれども、佐喜眞氏がこういった思いでもって建白書の内容について、あるいはまた表明もしないで選挙戦に臨んだかということは、私としては思い図ることができないこととございまして、何とも申し上げられませんけれども、ただ、私自身の思いといたしますのは、仮に当選した場合というご質問でしたから、私も仮にということでお答えいたしますけれども、そのときは、恐らくは政府と真摯に協議をして、新たな、あるいはまた何とか解決の糸口というのを見出そうという努力をしたのではないかと考えております。基本的には佐喜眞氏も宜野湾市長でございましたので、当然建白書のことに関しまして

10月10日（第4号）一般質問

は、我々と同じような考えで同調したはずで、そういうことからしますと、基本的な部分にはそういった思いがあつて、しかしながら行政マンとしてどうしようもない部分があつたのかと、私は心の中で思つておりました。そういうことで、あくまでも仮の話でございますけれども、政府との真摯なる協議というのが始められたのかと一応思つておりました。以上です。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 私は、どの候補が知事になろうとも、政府とは真摯に協議をすることだと思つておられます。亡くなった翁長前知事も真摯に政府と話し合いを持とうというところで、何度も通つたけど最初は門前払いということもあつて、その後も、協議はしているけれどもかみ合わないということであつて、何も対立するためにやっているのではなくて、話し合いをするためにこれまで頑張つてきたと私は認識しております。政府は辺野古が唯一とずっと言い続けているのです。そこを真摯に協議をすることというのは、この政府の応援を得た佐喜眞氏の今後の知事に当選したときの政府との対応というのは、おのずから見えてくるのではないのでしょうか。そのことは新聞報道でも幾つか書かれていたけれども、広報でもそうだし、辺野古の違い鮮明ということでもそうだし、識者の話でも建白書の実現、政策の訴え云々、中身を見ても、要するに辺野古の基地をつくらせるか、つくらさないかという話が対立、要するに両方向と違う、残りほとんど一緒ということ、手法が違うのだと。だけどただ、辺野古については、今度は鮮明になっているということだと思つておられます。だからそういう中において、町長は、佐喜眞氏が当選したら政府と真摯に協議をしていくと。本当に辺野古について、政府の言うとおりにやっていくのではないかと。私は非常に、佐喜眞氏が知事になったら大変だという思いは非常にありました。辺野古についての彼の考え方というものは、それと応援している皆さん方はどういう皆さんなのかわかりますし、その点は町長たるもの、私はそこまで考えていたのではないかと思つておられます。全く、辺野古について、ただ真摯に協議すると、本当にこれだけだつたのですか。辺野古に基地がつくられるのではないかという思いはなかつたのですか。その点をお伺いします。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。この辺野古に基地がつくられるのではないかという思いがあつたかどうかというご質問でございますけれども、今回の県知事選挙において、もちろん辺野古の問題、普天間の問題も重要な課題だと考えております、同時にまた、私は南風原町長として、今直面している国保の赤字問題とか、あるいはまた子どもの貧困対策事業に関する問題とか、あと四、五点ほど課題がございますので、そういったものが私の思いの中では優先してございまして、辺野古の問題に関しましても、当然県としては取り組むべき課題ではございますけれども、私としては今、町行政として課題に挙げております点について、何とかしないといけないという思いが優先してございまして、先ほど申し上げましたとおり、辺野古、普天間に関しましては、建白書の趣旨を堅持するという事で自分の立つ位置をはっきりさせておきたいと。当然それも重要な課題ではあるけれども、とりあえず私としてはそのほうに思いがいついたということで、ご理解をお願いしたいと思います。以上です。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 町長のおっしゃっていることはよくわかります。国保の問題、41市町村一緒に協力して、これも前期高齢者の補助の問題、いろいろ、城間前町長からずっとそのことは言われておりますし、その辺は41市町村の首長さん、みんな協力してやっていくべきだし、国保会計の赤字を出さないように、その辺は要請していくべきだと思つておられます。しかしながら、このことは、佐喜眞さんならできる、玉城さんならできないということでは、私はないと思つておられます。どの知事になろうとも、そのことは41市町村の首長さん、皆さん協力をしてやっていくべきだと、解決すべき問題だと、僕はそう思つておられます。2人が違つたのは、辺野古に基地をつくらせるか、つくらせないか。このことが違つていたのです。そういう意味で町長の立ち位置を、私はあえて質問しているわけです。町長が建白書は実現するということも町長選挙公約からもわかりますし、それから前回の一般質問でもそうお答えしてございます。だから、そういうことを町長は思いながら、なぜはっきり言えば、辺野古の基地賛成の方の応援をしたのか。賛成の方をと言ひ過ぎかもしれませんが、容認としか思えない候補者でした。その方をなぜ応援するのかというのが、私には理解できない。城間俊安前町長は退任しましたのでとやかく言うつもりはないのですが、前町長も建白書堅持を言いながら、それを推し進めている自民党公認の方を衆議院選挙で応援してました。非常に矛盾を感じてました。町民もなぜかと、そういう矛盾を私たちにぶ

10月10日（第4号）一般質問

つけていました。また今度の町長もかと思わざるを得ない。非常にこの点は、私は建白書実現をやっていくということであるならば、私は辺野古に基地をつくらせない、建白書の中に書かれているように、県内移設を断念させるということの立場に立ってほしいと思います。その立場は変わらないんですよね。建白書の中で県内移設は断念しろと。だけでも、辺野古の基地を容認する佐喜眞氏を応援したと。もし答弁があればほしいのですが、これ以上前に進まなければ答弁は特に要りません。

2点目に移ります。もし何なら、2点目を質問している間に、答える前にでもおっしゃってほしいと思います。高校卒業までの子どもの医療費無料化拡大についてですけども、調整、要するに先に行っている町村の調整も終えた。それで実施計画についての計上に向けて調整を進めているところということですけども、これは大体いつごろをめどに、皆さん方は実施をします。それに向けて実施計画をやるわけですから、その辺はいつごろに想定をされているのでしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 現在、実施計画計上に向けて進めているところですが、今回、計画します実施計画では、平成32年度からのものがございますので、これが町の財政状況といろいろ見ながらにもなりますので、平成32年になるのか、平成33年からになるのかとなると思います。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 それはまだ平成32年度のものに乗せるのか乗せないのかわからないということのようですけども、遅くとも平成33年度の実施計画に乗せるということなのではないでしょうか。平成33年度の実施計画に乗せるということは、3年計画でいきますよね。平成33年、34年、35年、大体その間ぐらいでは、最短といいますか、最長になるのか、遅くともそこまではやりますということなのではないでしょうか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 はい、そのとおりでございます。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 わかりました。ぜひ早目にできるように行ってほしいと思います。それと次の項目で県への要請ということも質問しているのですが、その辺との兼ね合いもあると思います。ぜひその実施計画を早目早目にやって、南風原町が率先してできるようにしてほしいと思います。

あと（2）の、県では10月から就学前までの現物給付を行うようですけども、その辺は中学校までぜひやってほしいという要請、新知事が就任しまして県の動向を注視してとなっているのですが、その辺は県がそういう方向性を見せないと要請しないということなのではないでしょうか。この辺をもう少し詳しく答弁してもらえませんか。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。県では、10月1日からの未就学児の現物給付の開始に対しまして、7月に県内町村はアンケートをとっておりまして、そういう中で、高校生まで拡充、現物給付で拡充する予定のところは1カ所、償還払いで中学校、小中高やるというのが、入院だけというものも含めても8町村しかなかった。まずは全町村、10月1日から未就学児の現物給付に対応していくという状況でございます。そういう中で、本町はもう既に小学校、中学校まで現物給付に取り組んでおりまして、先ほど申し上げましたように、次のステップとして高校生まで。それを県に要請という部分ですが、新しい知事の掲げています実施政策ということで、医療の充実、健康福祉社会の実現ということで、こども医療費助成の窓口での完全無料化を着実に実施して、こども医療の拡充に取り組むと県の政策として掲げております。このこども医療の拡充に取り組みますという部分で、今後、県が次のステップとして小学校、中学校まで広げていくのか、そういった部分も見ながら、機会を見て、我々としては他の市町村とも同調しながら、県の拡充を、機会を見て要請していきたいと考えています。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 アンケートの中で、市町村、高校まで、中学までとか、入院だけとかいろいろあるようですけども、それはそれとして他の町村と協力するところは協力してやってほしいのですが、ただ、南風原町として、南風原町が中学校まで現物給付を行っているわけですから、県も中学校まで、要するに補助の問題、就学前までですけども、中学校までやってほしいと。要するに中学校卒業まで実施しているところ、実施していないところもあるわけですから、それについて、中学校卒業までやっているところはぜひその補助をやってくれという要請まで、私はできると思います。県が中学校までやりましょ

10月10日（第4号）一般質問

う、小学校卒業まで、中学校まで、高校までとか、そういう医療費の無料化、芽出しをして初めて要請するというのではなくて、南風原町として、私はその辺は要請していくべきだと思いますけれども、どうですか。他の市町村と足並みを全部揃えないとこういうことはできないものなのですか。南風原町は、それを現物給付を最初に踏み出したわけですから、そういうこともできるはずなのです。南風原町が望む方向で要請するということができないものなのではないでしょうか。よろしくお願いします。

○議長 知念富信君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 機会を見ながら検討してまいりたいと思います。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 機会を見ながら…そういう答弁が出てくると非常に再質問がしにくいですか、やらないとも言わないし、やりますと言っているわけですからぜひやってほしいのですが、機会を見てというより、積極的にやってほしいと私は要請いたします。その要請の場がないとやらないということではなくて、自分たちからアポをとってでも行くとか、それぐらいやっていくべきだと。各市町村がまとまらないとこういう要請もできないと、そういう機会を待つのではなくて、その辺をぜひやってほしいと思います。機会を見てということですので、ぜひやってほしいと思います。

それでは3点目に、信号機の設置と右折信号の設置について質問いたします。津嘉山十字路と宮平当間原交差点については、今年度中に設置予定と報告を受けたということですので、それはそれでぜひ今年度中にできるように、今後も注視をしていくということになるかと思っております。ぜひ頑張ってもらいたい。それから照屋交差点ですけれども、右折帯がないので、要するに右折信号がつくまで右折ができないということずっと待っていることになりかと思うのですが、右折帯があって、直進もあれば直進はどんどん進めるのですが、この場合、右折帯は確かにありません。そして右折の信号もない。それで右折する車が先頭になりますと、後ろの直進する車、右折、左折する車、数珠つなぎに後ろにつながります。先頭の車が右折するときには、赤信号で右折することが多々見られます。私はそのことが非常に問題だと思います。もちろんほかの、照屋だけではなくて当間原も津嘉山も赤信号で2台、3台右折するときもあるのです。だからそういうことが危険であって、最後に右折が出れば、ちゃんと右折の矢印で曲がって行けるということが出来るわけですから、その辺は赤信号で右折するのではなくて、矢印で曲がるというためにも、右折帯はないけれども、直進と分かれていないのですが、その辺は右折信号をつけることによって、そういった赤信号で右折することは解決できるのではないかと考えて、そういう質問をしているわけです。ぜひその辺は、県道管理者との調整を含め、今後検討しますということですので、ぜひ検討してほしいということと、赤信号で右折するということの危険性は、皆さん十分承知していると思います。その辺はぜひやってほしいと思います。それと、ガスト前の信号については、与那原署を通じてということですが、実はこの近辺、津嘉山十字路の信号と、もう一つは仲井真交差点の信号、これしかないのです。横断歩道はありますけれども、信号がないのでなかなか渡りづらい。信号をつければ、もちろん車も人もスムーズに渡れるという所です。これはぜひ強く要請してほしいと思います。

それから山川体育センターについてですけれども、これまでも修理費、原材料費、その点は出してもらっています。もちろんそういった、例えばフェンスとかライトが壊れたりしたらその辺の修繕というのは当然必要ですし、それはやってほしいと思います。実は、このグラウンドの整備は、何年も山川の皆さんが側溝の整備、年に一度ですけれどもやっています。多くの砂が流れてきて、これを上げています。皆さん方、グラウンドをごらんになったことはあるでしょうか。1塁側に溝が大きく何本もできています。つまり、表土を全部洗い流して、側溝に流していくのです。要するにでこぼこ状態です。土砂を上げてまた埋めたりはするのですが、いちごっここといいますか、山川の皆さんはだましましやっているといいますが、天気がいいときはまだいいです。いっぱい雨が降れば全部流れ込んでいくという状態がずっと続いているのです。実は、あの体育センターは、ごらんになればよくわかるのですが、1塁側のベンチが下がっているのです。後ろにひっくり返っている状態です。要するに地盤沈下しています。あれはもう大分前からです。そういう状況で、1塁側に水が流れていく、表土が洗い流されていくという状況です。芝生が生えているところもでこぼこ状態です。向こうも、上げた砂を埋めていくということでもいろいろ使っています。町民が使う大事なグラウンドです。南風原町は各字に1公園ということであったのですが、なかなかそれもできない。そういう中で、現にある体育センターを大事に使っていくということが、私は必要ですけれども、私はここでは、計画はありませ

10月10日（第4号）一般質問

んと皆さんはおっしゃっていますけれども、私は、計画はありませんということではなくて、計画をぜひつくって给我せんかと。実施計画を立ててや给我せんかということなのです。今はないかもしれ给我せん。ぜひそのことを実施計画でや给我ほしいと思いますけれども、いかがでしょう。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 先日、グラウンドを確認させていただきました。山川体育センターについては、山川区民が広く使 my っていて、特に先日の清掃も my っていて、本当にありがたく思 my っています。よく町民の方にと my いうことで、南山会であるとかサンシャインであるとか、少年野球が多く使 my われているということも理解しているのですが、町としては、今後もこの原材料費と修繕費で my っていくたいと考 my えてお my います。

[宮城寛諄議員より「休憩願 my います」の声あり]

○議長 知念富信君 休憩 my します。

休憩（午前10時46分）

再開（午前10時47分）

○議長 知念富信君 再開 my します。14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 計画を立てて整備を my してほしいという質問を my しているのですが、そういう再整備の計画はないと。今後もそういうことは my っていくかないということなのでしょう。この辺は本当に、南風原町内、こういう狭いところで公園を確保してグラウンドを整備して、町民が非常に大事に my しているところなので、これを整備して新しく生まれ my 変わって、町民が有効に利用できる、そういうところをぜひ my づく my してほしいと思 my いますけれども、再度答 my 弁を求 my めます。再整備の計画をぜひ my 立てて my ほしいと思 my いますけれども、いかがですか。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 公園の計画も、全体的な計画の整備、それからその辺の再整備も合 my わせて、広く検 my 討しているところなのですが、今現在、山川体育センターの再整備については、計画はご my ざ my いません。

○議長 知念富信君 14番 宮城寛諄議員。

○14番 宮城寛諄君 終わ my ります。